

教科書「高等学校 化学基礎 (化基 706)」, 「i 版 化学基礎 (化基 707)」では, 学習指導要領の改訂や, 日本化学会の提案などを基に, 用語や定義の一部を変更しています。

用語, 定義	新しい教科書での表記 (化学基礎)	化基706 ページ	化基707 ページ
昇華の逆過程 ("固体→気体" の逆過程)	固体→気体を「昇華」, 気体→固体を「凝華」と区別して記載しています。	p.30	p.29
希ガス	「貴ガス」としています。 ※以前の表記「希ガス」は注釈に記載しています。	p.41	p.41
イオン式	化学式のうち, イオンを表す化学式を, 「イオンの化学式」としています。 ※以前の表記「イオン式」は注釈に記載しています。	p.43	p.44
遷移元素	以前は, 3~11族元素を「遷移元素」として扱っていましたが, 3~12族元素の総称を「遷移元素」として使用しています。 ※12族を遷移元素に含める場合と含めない場合があることは注釈に記載しています。	p.48	p.50
アルカリ 土類金属	以前は, Be, Mgを除いた2族元素を「アルカリ土類金属」としていました。 IUPAC 命名法で「2族のすべてがアルカリ土類金属」という表記になっているため, 2族元素すべてを指して, 「アルカリ土類金属」としています。 ※Be, Mgが他の2族元素と性質が異なることや, 以前の定義については注釈に記載しています。	p.50	p.50
価標	本文中では「1本の線」としています。 ※「構造式中で結合を示す線のことを価標ということもある。」ことは注釈に記載しています。	p.66	p.64
共有結合結晶	原則, 「共有結合結晶」としています。	p.84	p.74
標準状態	「標準状態」の用語は初出のみで触れることとし, 「0°C, 1.013×10 <sup>5</sup> Pa」と記載しています。	p.105	p.94
定比例の 法則	化基706では, 「一定組成の法則」ともいうことを括弧内に記載しています。	p.126	
倍数比例の 法則	化基706では, 「倍数組成の法則」ともいうことを括弧内に記載しています。	p.127	
気体反応の 法則	化基706では, 「反応体積比の法則」ともいうことを括弧内に記載しています。	p.127	
化合	使用していません。		